

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3972100501
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム のいち
訪問調査日	平成 20 年 3 月 13 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 26 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日：成20年3月21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972100501		
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村		
事業所名	グループホーム のいち		
所在地 (電話番号)	香南市野市町東野1652-1 (電話) 0887-56-3388		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年3月13日	評価確定日	平成20年6月26日

## 【情報提供票より】(20年2月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年8月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	12人	常勤12人, 非常勤人, 常勤換算12人	

### (2) 建物概要

建物形態	併設/ <u>単独</u>	<u>新築</u> /改築
建物構造	鉄骨造り	
	3階建ての	2階~3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000~37,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有( )円 <u>無</u>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 <u>無</u>	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1月当たり		30,000円	

### (4) 利用者の概要(3月13日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	6名		
要介護3	7名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.3歳	最低	74歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	南国中央病院	かがみ診療所	ながの歯科	2
---------	--------	--------	-------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同法人のケアハウスやデイサービスがある中にホームはある。周辺には、ホテルや幼稚園はあるものの、ホームの近隣に新しい住宅が数軒建っているだけで、生活感を感じる事が少ない地域特性を持っているが、利用者は肩の力を抜き、ゆったりと明るく、落ち着いて暮らしていることが分かるホームとなっている。自由に、好きなことができ、好きな場所に居られるなど利用者にとっては、居心地の良い生活環境となっている。これは、利用者、職員の程よい人間関係の距離の取り方であろう。ひとえに2人の管理者のポジティブな高齢者感と頑張りを支えられ、このようなホームになっていったものと考え。例えば、終末期の利用者がおられるが、普通の人として、何事もないように、終末期を迎えている。これが、このホームの特徴である。職員一人ひとりの頑張りや評価に値する。利用者との関係性を崩さず、利用者一人ひとりが、肩を寄せ合い、明るく自由に暮らしつづけることができる生活の場が、継続できることを期待する。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(改善項目:外部4) 改善点は、金銭管理、定期健康診断の支援、ホームに閉じこもらない支援、継続的研修の支援、市町村との関わり等であった。改善シートが作成され、改善すべき事項は改善されていたが、改善シートの記載が不十分で、改善のプロセスがわからないものとなっている。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の意義や目的は職員に周知され、職員と話し合い、評価結果(詳細)を記載している。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2か月間の利用者の状況、ホームの活動報告を行い、家族からホームへの要望や、参加者から質問や意見、アドバイスが出されるなど意見交換されている。グループホームは地域の中に浸透しつつあり、活発な意見交換までには至っていないが、前向きに取り組んでいることが分かる会議となっている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:7, 8) 家族会は組織されていないが、ホーム側の細やかな配慮により安心して暮らせる環境はできている。これは、家族の意見や要望、意向を、家族の来訪時によく聞くように努めている賜物でもあろう。また、行事等の家族来訪時に、家族間の交流を行っている。苦情は、現在まではない。家族は、良くしてもらっているからこそ、意見や苦情があっても言えないことがあることを理解し、家族会の組織化を検討されたい。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム周辺には、幼稚園はあるものの、ホテルや同法人のケアハウス、最近建てられた数軒の住宅がある環境で、住宅地域でもなく、農村地域でもない、生活感の薄い地域特性を持つ。町内会そのものの活動が少ない地域でもあり、町内会には入会していない。管理者の地域との関わりを意識した行動等に支えられ、ホームが地域の中に認知されつつある。地域そのものは、少し足を延ばせば、農村地帯であり、その地域の方が14人入所しており、職員も地域の人が多く、利用者との関係性は良好である。その利点を生かし、積極的に、地域に出かけ、地域の中の一員であることが肌で分かるホーム運営を期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 事業所の理念に、地域との関わりが明記されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 具体的な話し合いには至っていないが、介護計画は、理念を念頭に立案している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 日々のサービスの中で、言葉使いに気をつけ、年長者に対する尊厳の念をもってサービスを提供している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 農村地域でも住宅地域でもない、最近住宅が数件建てられた地域で、地域住民との交流が少ない。町内会には加入していないが、地域活動の基盤作りに努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 民生委員が5年も不在であるなど、地域住民同士の交流が少なく、行事等は1回の町内会の総会があるのみである。		
3. 理念を実践するための制度と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 評価の意義を理解したうえで、管理者が職員と話し合い、記載している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 課題は改善されていたが、改善計画シートの記載が不十分で、改善のプロセスが分からないものとなっているため、プロセスがわかるようにすることが望まれる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 2カ月間の利用者の状況報告、事業所の活動報告を行い、家族から要望や家族の思いを言ったり、他の参加者から、質問や意見、アドバイスがあるなど、グループホームの理解は、地域の人達にも浸透しつつある。会議は、双方向的な会議となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 運営推進会議に報告し、参加者から、地域との交流が重要であると意見が出されている。民生委員もでき出席してもらうようになり、地域に出かけるなど改善に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  運営について相談にのってもらったり、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪時には、積極的に近況報告を行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 ホーム便りや手紙等の送付はしていない。家族の来訪時のみの報告だけではなく、定期的な報告で、家族にとって、ホームでの暮らしが分かり、安心が得られる。ホームでの暮らしぶりのわかる方法を検討されることを期待したい。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 心身の状況に変化があればその都度電話で報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 家族の来訪時に、金銭出納帳を明示し、サインをもらっている。	○	家族の安心の確保と信頼関係の構築のため、ホームからの報告は大切である。ホームでの暮らしぶりのわかるホーム便りの発行や、ホームでの暮らしぶりがわかる写真等を、担当職員が手紙とともに家族に送付するなど検討されたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会はないが、家族の意見、要望、意向など、家族来訪時に、よく話し合うよう努めている。また、行事等の家族来訪時に、交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>管理者、職員の異動や退職者が多く、馴染みの職員が継続的に支える体制であるとは言いがたい。しかし、現在の管理者の頑張りによって支えられ、利用者は安心して暮らすことができる環境ができています。</p> <p><input type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>異動、新規採用で、引き継ぎ期間がない場合もあるが、残った職員の協力で、業務は移行できている。</p>	○	<p>利用者と職員の馴染みの関係は、個々の利用者が安心・継続して暮らすことの保障にもなり、またサービスの質の確保にとっても重要である。現在は、管理者の頑張りによって支えられ、安心して暮らせる環境が構築されているが、今後、馴染みの管理者、職員によって支援が継続でき、異動する場合でも引継期間が十分確保できるよう、母体法人と協議することを期待したい。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>管理者より、研修の周知があり、採用の如何にかかわらず、希望すれば参加できるようになっているが、人的環境も含めて積極的な参加ができない。研修等は、職員の質確保、向上にとって不可欠のものである。研修の年間計画を立て、計画的、かつ、積極的に参加することが望まれる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修報告書を提出し、スタッフ会で伝達講習しており、研修の共有はできている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>本部法人が加入し、研修等は文書が配布されてくる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>地域内のグループホームの文化祭に利用者とともに参加するなど、交流に努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>家族や病院、介護支援専門員等からの情報を、アセスメントチャート(竹内式)を使用し、入居希望者のバックグラウンドの情報収集を行っている。利用者の「その人らしさ」が分かるものとなっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人、家族にホームに見学に来てもらい、お茶を飲むなどホームに馴染むかを見極め、利用できるように移行している。希望があれば体験入居もできるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p> <p>管理者2人で、家庭等に訪問し、面接を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 自然発生的にできた、ホーム内での利用者一人ひとりの役割を大切に、できることには手を出さず、見守り、出来にくいことには、さりげなく、職員一人ひとりが自然体で支援する体制ができて上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 利用者と職員と一緒に教えたり、教えられたりの関係は構築されており、力を抜き、自然体で暮らすことのできる生活環境はできあがっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 野菜作りや調理等、職員が知らないことは聞き、一緒に行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりのの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 日頃の会話や家族の情報をもとに、把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 馴染みの関係や信頼関係が構築されており、利用者の態度や動きで推測し、利用者の思い等を理解できるように努めている。		
<b>2. 本人がよりよく暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 自分の要望の言える利用者には利用者自身に、家族にはホーム来訪時に聞き、プランに反映している。プランは、アセスメントより導き出されたプランとなっており、また、実践可能なプランとなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 勤務している職員が集まり、アセスメント、モニタリング、カンファレンスを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 長期目標も、短期目標3ヶ月間に設定されているが、大きな変化があれば見直しが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 入居した利用者には、暫定プランとして、1カ月間で見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 協力病院の往診が月2回あり、外来受診は職員で対応、かかりつけ医の受診は家族で対応しているが、家族が対応できない時は、職員で対応するなど柔軟に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 現在1人の看取りを行っている。苦痛の軽減に努めており、その利用者が、にこやかに対応して下さった。また、家族が毎日昼食の世話に来るなど、家族との触れ合いに配慮が見られ、その人らしく、その利用者の生きざまを見るような、その人らしい終末期を支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 通院は、家族の都合が悪い時は、職員が対応するなど柔軟に支援している。外泊期間は自由となっている。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 自由に、病院の選択はできる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。 通院を支援した職員は、医師からの情報を健康記録に記載し、家族が対応した場合は、家族から口頭で聞き、健康記録に記載し、情報を共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 看取りの指針を作成し、同意書も取っている。家族には医師から説明があり、医師と事業所とが計画をたて、家族に文書で渡している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないよう、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 排泄等については、そばで声掛けをするなど、気配りし、さりげない態度で接している。利用者の誇りやプライバシーを損ねるものではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 面接簿が玄関に置かれていた。個人情報の観点から、面会シートに変えるなど検討し、その都度処理され、プライバシー保護のあり方を検討されることを期待したい。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報については、職員間で周知徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者の思いを支援しようとする管理者や職員の姿勢は評価できる。これらの思いを、人的環境により実践出来ない職員のもどかしさもある。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 業務を優先することなく、利用者から希望があれば、柔軟に対応しようと努めている。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者に毎日希望を聞き、食材を見て、献立をたてている。利用者が黙々と、手際よく調理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 同性介護を基本とし、入浴希望等は把握できている。現在は、夜間入浴の希望はないが、あれば対応するようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒否される利用者には、気分転換を図り、再度声掛けをするなど工夫し、入浴支援にあたっている。時に、近隣の温泉の足湯に行くなど、柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 利用者の生活歴や、趣味、職業などから、特技を見出し、役割や楽しみごとになるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 プランターに野菜を植える、家事をするなど、利用者が自主的に行うことに対し、職員はその役割を大切に支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 できる事には声がけし、日々の積み重ねで役割になるよう働きかけを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 ホームの敷地内の散歩は日常化している。馴染みの店等の希望は現在はない。希望があれば対応できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 利用者全員が乗車できる車がないため、個別にドライブ等にでかけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 一人で出かけた利用者は、把握できている。出かけた時は、職員は後ろからそつと付き添い、安全を確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 敷地内に同法人のケアハウスがあり、このケアハウスは散歩コースで、顔馴染みになっており、連絡体制ができている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 近隣は、最近、住宅ができたばかりで、付き合いが少なく、住民の協力を得られないが、同じ敷地内のケアハウス、デイサービスと合同で、防火訓練を年2回行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。  避難路も職員は周知し、消火器は所定の場所に設置されている。非常用食料は、ケアハウス等と共同で備蓄されている。	○	災害時の避難には、地域住民の協力は欠かせないので、地域住民の参加による避難訓練を実施することを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 献立は、利用者の希望を取り入れ、四季折々の食材も取り入れるなど、色彩や食欲をそそるものである。しっかり味付けもされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 ケアハウスの栄養士のチェックを受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 比較的ゆったりとした共用空間であり、畳が敷かれたり、家庭的な雰囲気があり、清潔感があるスペースとなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 壁面は大きな桜のちぎり絵が貼られ、家庭的な雰囲気を壊すものではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 梅の花が挿され、ほっとする生活環境はできあがっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 居室にクローゼットが設えられているため、それぞれの利用者は、使い慣れた家具や新しい家具等を持ち込まれ、個性的で、清潔感があり、利用者の顔の見える居室となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 生活感があり、個性的で、居心地の良い、居室となっている。		